

平成21年度普通交付税等の算定状況(高知県内市町村分)等について(概要)

1 算定状況

(1) 決定額

- ア 普通交付税 123,456百万円
(対前年比 +2.6%(+3,175百万円)、全国市町村+ 5.1%)
- イ 臨時財政対策債 13,615百万円
(対前年比 +55.2%(+4,843百万円)、全国市町村 +55.2%)
- ウ 実質的な普通交付税(普通交付税+臨時財政対策債) 137,071百万円
(対前年比 +6.2%(+8,017百万円)、全国市町村 +11.1%)

(2) 基準財政需要額(臨時財政対策債振替前)

213,062百万円(対前年比+2.6%(+5,494百万円)、全国市町村 +2.2%)

(3) 基準財政収入額

75,811百万円(対前年比 ▲3.3%(▲2,616百万円)、全国市町村 ▲3.9%)

2 今年度の算定結果の特徴

- (1) 平成21年度の県内市町村の実質的な普通交付税は、5年ぶりにプラスとなった前年度(対19年度比約35億円の増)に引き続き、地域雇用創出推進費の創設などにより、対前年度比約80億円と大幅に増加した。

この増加額の半分以上は、臨時財政対策債が占めているが、これは不況の深刻化などにより、財源不足額が拡大し、それを臨時財政対策債で賄わざるを得なかったことによるものである。

<県内市町村における実質的な普通交付税の増減状況>

- ・ 前年度より増加した団体 34団体(20年度は30団体)
- ・ 前年度より減少した団体 なし (20年度は4団体)

(2) 基準財政需要額

ア 地域雇用創出推進費の創設

3,550百万円(対前年度比 皆増、全国市町村250,515百万円)

県内市町村における人口一人当たり4,458円(全国第2位)(全国1,961円)

(全国平均に対する自主財源の割合、納税者一人あたりの市町村民税割及び第一次産業就業者比率等を反映して算出)

イ 保健衛生費

11,118百万円(対前年度比 +13.0%(+1,278百万円)、全国市町村 +10.6%)
(公立病院の病床数、医師確保対策の充実などによる増)

ウ 生活保護費の充実

8,639百万円(対前年度比 +11.8%(+911百万円)、全国市町村 +12.8%)
(生活扶助単価の増額などによる増)

(3) 基準財政収入額

ア 市町村民税法人税割

2,343百万円(対前年度比 ▲36.4%(▲1,343百万円)、全国市町村 ▲40.0%)
(景気低迷による業績悪化が見込まれることによる減)

イ 固定資産税

29,987百万円(対前年度比 ▲2.5%(▲754百万円)、全国市町村 ▲1.2%)
(評価替えに伴う家屋評価額の減価などによる減)

(問い合わせ先)

総務部市町村振興課 課長補佐 田中(TEL:823-9312)

財政担当チーフ 岡田(TEL:823-9315)

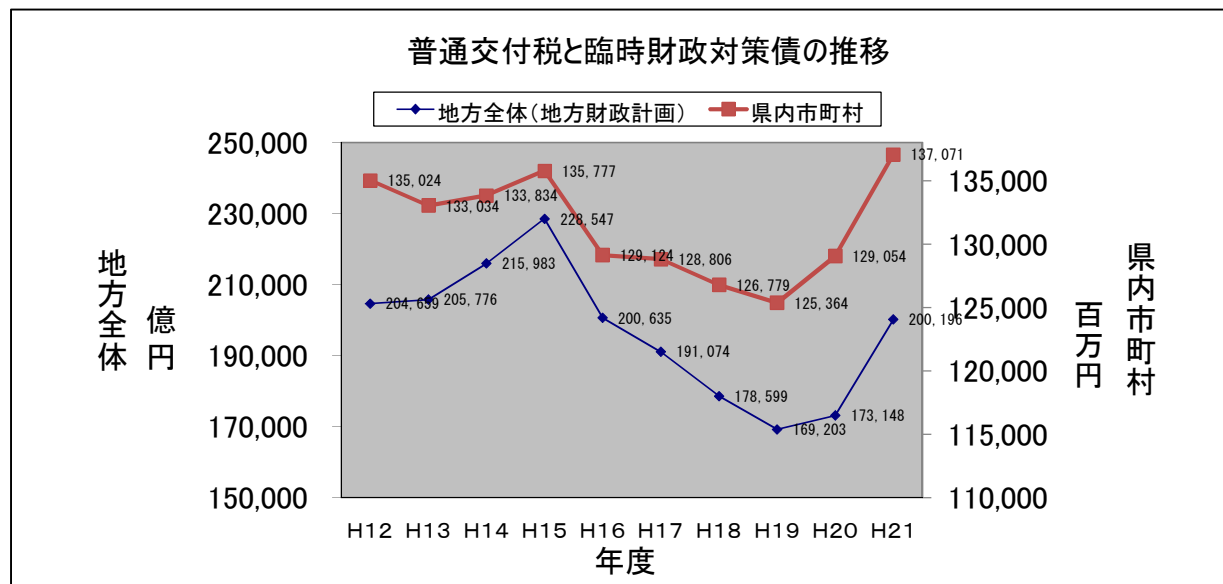
普通交付税の推移

	地方全体(地方財政計画)(単位:億円、%)								県内市町村の状況(単位:百万円、%)							
	地方財政計画総額		普通交付税総額		臨時財政対策債		普通交付税+臨時債合計		当初予算の規模		普通交付税総額		臨時財政対策債		交付税+臨時債合計	
	伸比率	伸比率	(発行可能額)	伸比率	伸比率	伸比率	伸比率	伸比率	(決定額)	伸比率	(発行可能額)	伸比率	伸比率	伸比率		
H12	889,300	0.5	204,659	4.4			204,659	4.4	411,574	▲ 3.0	135,024	0.5			135,024	0.5
H13	893,071	0.4	191,288	▲ 6.5	14,488	皆増	205,776	0.5	403,308	▲ 2.0	127,352	▲ 5.7	5,682	皆増	133,034	▲ 1.5
H14	875,666	▲ 1.9	183,722	▲ 4.0	32,261	122.7	215,983	5.0	386,157	▲ 4.3	121,534	▲ 4.6	12,300	116.5	133,834	0.6
H15	862,107	▲ 1.5	169,851	▲ 7.5	58,696	81.9	228,547	5.8	380,785	▲ 1.4	114,670	▲ 5.6	21,107	71.6	135,777	1.5
H16	846,700	▲ 1.8	158,729	▲ 6.5	41,906	▲ 28.6	200,635	▲ 12.2	374,499	▲ 1.7	114,015	▲ 0.6	15,109	▲ 28.4	129,124	▲ 4.9
H17	837,687	▲ 1.1	158,838	0.1	32,236	▲ 23.1	191,074	▲ 4.8	367,589	▲ 1.8	117,156	2.8	11,650	▲ 22.9	128,806	▲ 0.2
H18	831,508	▲ 0.7	149,527	▲ 5.9	29,072	▲ 9.8	178,599	▲ 6.5	360,812	▲ 1.8	116,453	▲ 0.6	10,326	▲ 11.4	126,779	▲ 1.6
H19	831,261	▲ 0.0	142,903	▲ 4.4	26,300	▲ 9.5	169,203	▲ 5.3	359,690	▲ 0.3	115,997	▲ 0.4	9,367	▲ 9.3	125,364	▲ 1.1
H20	834,014	0.3	144,816	1.3	28,332	7.7	173,148	2.3	363,738	1.1	120,281	3.7	8,773	▲ 6.3	129,054	2.9
H21	825,557	▲ 1.0	148,710	2.7	51,486	81.7	200,196	15.6	361,156	▲ 0.7	123,456	2.6	13,615	55.2	137,071	6.2

注)1 県内市町村の普通交付税総額は、H20までは最終交付ベース、H21は当初交付ベースである。

注)2 県内市町村の臨時財政対策債は、発行可能額である。

注)3 表示単位未満四捨五入のため、伸率と一致しない。



◎地域雇用創出推進費算定額（各県別内訳）

（単位：百万円）

団体名	都道府県分	市町村分
1 北海道	9,623	15,385
2 青森	5,443	5,410
3 岩手	5,034	4,871
4 宮城	5,040	5,169
5 秋田	4,952	4,380
6 山形	4,521	3,649
7 福島	4,910	6,161
8 茨城	5,191	6,777
9 栃木	4,122	4,084
10 群馬	3,887	4,868
11 埼玉	8,970	10,299
12 千葉	8,043	9,075
13 東京	10,589	7,437
14 神奈川	9,844	6,635
15 新潟	5,076	6,930
16 富山	3,819	2,438
17 石川	3,995	2,701
18 福井	3,512	2,125
19 山梨	3,737	3,086
20 長野	4,661	7,465
21 岐阜	4,307	5,346
22 静岡	5,728	6,519
23 愛知	7,840	9,209
24 三重	4,043	4,386
25 滋賀	3,972	3,001
26 京都	4,660	3,703
27 大阪	9,739	9,118
28 兵庫	7,825	8,032
29 奈良	4,364	3,231
30 和歌山	3,862	3,238
31 鳥取	3,899	2,423
32 島根	3,746	3,472
33 岡山	4,043	4,831
34 広島	4,931	6,000
35 山口	3,935	4,097
36 徳島	3,542	3,016
37 香川	3,434	2,567
38 愛媛	4,243	4,565
※ 39 高知	4,538	3,550
40 福岡	7,890	8,419
41 佐賀	4,095	2,972
42 長崎	5,054	5,223
43 熊本	5,041	6,301
44 大分	4,255	4,005
45 宮崎	4,754	3,820
46 鹿児島	5,467	6,319
47 沖縄	5,865	4,209
合計	250,040	250,515

平成21年度 市町村別普通交付税等の決定額

(単位:百万円、%)

団体名	21年度			20年度						当初決定額比較						最終決定額比較					
				当初決定額			最終決定額			増減額			増減率			増減額			増減率		
	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計	普交	臨財債	計
高知市	28,409	3,977	32,386	27,239	2,562	29,801	27,307	2,562	29,869	1,171	1,414	2,585	4.3	55.2	8.7	1,102	1,414	2,517	4.0	55.2	8.4
室戸市	3,891	311	4,201	3,807	200	4,007	3,812	200	4,012	84	110	194	2.2	55.2	4.8	79	110	189	2.1	55.2	4.7
安芸市	4,153	342	4,495	4,167	220	4,387	4,173	220	4,393	▲ 14	122	108	▲ 0.3	55.2	2.5	▲ 20	122	102	▲ 0.5	55.2	2.3
南国市	4,005	636	4,641	3,888	410	4,298	3,898	410	4,307	117	226	343	3.0	55.2	8.0	108	226	334	2.8	55.2	7.7
土佐市	3,929	405	4,334	3,859	261	4,120	3,865	261	4,126	71	144	215	1.8	55.2	5.2	65	144	209	1.7	55.2	5.1
須崎市	3,935	369	4,304	3,871	238	4,109	3,877	238	4,115	64	131	195	1.7	55.2	4.7	58	131	189	1.5	55.2	4.6
宿毛市	3,751	372	4,123	3,515	240	3,755	3,520	240	3,760	236	132	369	6.7	55.2	9.8	231	132	364	6.6	55.2	9.7
土佐清水市	3,588	311	3,899	3,571	200	3,771	3,576	200	3,776	17	111	127	0.5	55.2	3.4	12	111	123	0.3	55.2	3.2
四万十市	6,564	636	7,200	6,369	409	6,778	6,378	409	6,787	195	226	421	3.1	55.2	6.2	186	226	412	2.9	55.2	6.1
香南市	6,608	791	7,400	6,461	510	6,971	6,471	510	6,981	147	282	428	2.3	55.2	6.1	137	282	419	2.1	55.2	6.0
香美市	5,995	651	6,646	5,832	419	6,251	5,840	419	6,259	163	232	395	2.8	55.2	6.3	155	232	387	2.7	55.2	6.2
東洋町	1,264	126	1,391	1,247	81	1,328	1,248	81	1,330	18	45	63	1.4	55.2	4.7	16	45	61	1.3	55.2	4.6
奈半利町	1,336	124	1,460	1,325	80	1,405	1,327	80	1,406	11	44	55	0.8	55.2	3.9	9	44	53	0.7	55.2	3.8
田野町	1,089	109	1,198	1,066	70	1,136	1,067	70	1,137	23	39	62	2.2	55.2	5.4	22	39	60	2.0	55.2	5.3
安田町	1,235	120	1,355	1,222	77	1,299	1,223	77	1,301	13	43	55	1.1	55.2	4.3	11	43	54	0.9	55.2	4.2
北川村	840	95	935	823	61	884	824	61	885	17	34	51	2.1	55.2	5.8	16	34	50	2.0	55.2	5.6
馬路村	788	86	874	762	55	817	763	55	818	26	31	57	3.5	55.2	7.0	25	31	56	3.3	55.2	6.8
芸西村	1,111	138	1,249	1,049	89	1,138	1,050	89	1,139	62	49	111	5.9	55.2	9.7	60	49	109	5.7	55.2	9.6
本山町	1,687	158	1,845	1,612	102	1,714	1,614	102	1,716	75	56	131	4.7	55.2	7.6	73	56	129	4.5	55.2	7.5
大豊町	2,230	200	2,430	2,213	129	2,342	2,215	129	2,344	17	71	88	0.8	55.2	3.8	15	71	86	0.7	55.2	3.7
土佐町	1,662	173	1,835	1,651	111	1,762	1,653	111	1,764	11	61	72	0.6	55.2	4.1	9	61	70	0.5	55.2	4.0
大川村	465	60	525	453	39	492	453	39	492	12	21	34	2.7	55.2	6.8	12	21	33	2.6	55.2	6.7
いの町	4,404	574	4,978	4,214	370	4,584	4,220	370	4,590	190	204	394	4.5	55.2	8.6	184	204	388	4.3	55.2	8.4
仁淀川町	3,264	320	3,584	3,234	206	3,441	3,238	206	3,444	29	114	143	0.9	55.2	4.2	26	114	140	0.8	55.2	4.1
中土佐町	2,723	272	2,994	2,664	175	2,839	2,667	175	2,842	59	97	155	2.2	55.2	5.5	55	97	152	2.1	55.2	5.3
佐川町	2,505	263	2,768	2,441	169	2,611	2,445	169	2,614	63	93	157	2.6	55.2	6.0	60	93	154	2.5	55.2	5.9
越知町	1,970	196	2,167	1,985	127	2,112	1,988	127	2,114	▲ 15	70	55	▲ 0.8	55.2	2.6	▲ 17	70	53	▲ 0.9	55.2	2.5
構原町	2,954	175	3,129	2,862	113	2,975	2,865	113	2,978	92	62	155	3.2	55.2	5.2	89	62	151	3.1	55.2	5.1
日高村	1,257	165	1,422	1,240	106	1,346	1,241	106	1,347	18	59	76	1.4	55.2	5.7	16	59	75	1.3	55.2	5.5
津野町	2,898	260	3,158	2,840	168	3,008	2,844	168	3,011	58	93	150	2.0	55.2	5.0	54	93	147	1.9	55.2	4.9
四万十町	6,171	562	6,734	6,069	362	6,431	6,076	362	6,438	103	200	303	1.7	55.2	4.7	95	200	296	1.6	55.2	4.6
大月町	2,291	187	2,477	2,127	120	2,248	2,130	120	2,250	163	66	230	7.7	55.2	10.2	161	66	227	7.5	55.2	10.1
三原村	995	85	1,080	965	55	1,020	966	55	1,021	30	30	60	3.1	55.2	5.9	29	30	59	3.0	55.2	5.8
黒潮町	3,489	368	3,856	3,443	237	3,680	3,447	237	3,684	46	131	176	1.3	55.2	4.8	42	131	172	1.2	55.2	4.7
都市計	74,829	8,799	83,628	72,578	5,669	78,247	72,716	5,669	78,386	2,251	3,130	5,380	3.1	55.2	6.9	2,112	3,130	5,242	2.9	55.2	6.7
町村計	48,627	4,816	53,443	47,506	3,103	50,610	47,565	3,103	50,668	1,121	1,713	2,834	2.4	55.2	5.6	1,062	1,713	2,775	2.2	55.2	5.5
県計	123,456	13,615	137,071	120,084	8,773	128,857	120,281	8,773	129,054	3,371	4,843	8,214	2.8	55.2	6.4	3,175	4,843	8,017	2.6	55.2	6.2

平成21年度 普通交付税等の状況 ＜県内市町村分＞

平成21年7月28日
高知県総務部市町村振興課



平成21年度普通交付税総括表

平成21年度 総括表(普通交付税、臨時財政対策債発行可能額)

区分		全国(市町村)(単位:億円、%)		県内市町村(単位:百万円、%)	
		平成21年度	対前年度伸率	平成21年度	対前年度伸率
基準財政需要額	包括算定経費 a	25,934	▲ 2.8	29,283	▲ 2.6
	個別算定経費 (地方再生対策費・ 地域雇用創出推進費・ 公債費等除く) b	136,983	1.4	148,873	1.9
	地方再生対策費 c	2,286	0.0	3,809	0.0
	地域雇用創出推進費 d	2,217	皆増	3,550	皆増
	公債費等 e	20,788	3.4	27,546	▲ 0.2
	計 f (a+b+c+d+e)	188,207	2.2	213,062	2.6
臨時財政対策債 g	13,717	55.2	13,615	55.2	
臨時財政対策債振替後 基準財政需要額(f-g)	174,490	▲ 0.5	199,446	0.3	
基準財政収入額	106,246	▲ 3.9	75,811	▲ 3.3	
交付基準額	68,244	5.2	123,635	2.7	
普通交付税額	68,087	5.1	123,456	2.6	
普通交付税額+臨時財政対策債	81,805	11.1	137,071	6.2	

(注)

1. 全国(市町村分)は、平成21年度の財源不足団体について、対前年度伸率を算出している。
なお、交付基準額、普通交付税額及び普通交付税額+臨時財政対策債については、前年度の実績に対する伸率である。
2. 交付基準額と普通交付税額との差は調整額である。
3. 当初算定ベースである。
4. 各数値は、各数値ごとに表示単位未満を四捨五入している。
5. 表示単位未満四捨五入しているため、項目ごとの数値と合計は一致しない。

1. 決定額の概要

平成21年度県内市町村の普通交付税及び臨時財政対策債発行可能額の合計額(以下、「普通交付税等」という。)は、地域雇用創出推進費の創設及び財源不足の大幅な拡大により、臨時財政対策債の発行可能額が大幅に増大したため、前年度算定比+6.2%(8,017百万円の増)で、昨年に続きプラスとなった。

- ・前年度算定より増加した団体 34団体(20年度は30団体)
- ・前年度算定より減少した団体 なし(20年度は4団体)

2. 全国との比較

全国市町村の普通交付税等が前年度比+11.1%であるのに対して、県内市町村は対前年度比+6.2%となっている。

(1) 基準財政需要額

① 臨時財政対策債振替前

213,062百万円(+2.6%、+5,494百万円(全国+2.2%))
うち公債費等

27,546百万円(▲0.2%、▲63百万円(全国+3.4%))

② 臨時財政対策債振替後

199,446百万円(+0.3%、+651百万円(全国▲0.5%))

(2) 基準財政収入額

75,811百万円(▲3.3%、▲2,616百万円(全国▲3.9%))

① 市町村民税法人税割

2,343百万円(▲36.4%、▲1,343百万円(全国▲40.0%))

② 固定資産税

29,987百万円(▲2.5%、▲754百万円(全国▲1.2%))

3. 算定方法の主な見直し内容

(1) 地域雇用創出推進費の創設

[目的]

現下の厳しい雇用失業情勢を考慮し、地方公共団体が雇用創出につながる地域の実情に応じた事業を実施することができるよう、「地域雇用創出推進費」を創設（平成21年度及び平成22年度）する。（全国：5,006億円、うち市町村分2,505億円）

[概要]

- ①間伐や学校耐震化をはじめ、地域の知恵を活かした事業を推進し、地域の雇用を創出するため必要な経費を算定する。
- ②地方交付税の臨時費目とし、雇用情勢や経済・財政状況の厳しい地域に重点的に配分する。

[算定方法]

- ①全国平均に対する自主財源の割合、納税者一人あたりの市町村民税所得割及び第一次産業就業者比率等を反映。
- ②合併市町村については、旧市町村単位で算定した額を合算することにより、財源を確保。

(2) 公立病院に対する交付税措置の充実

【公立病院病床数】

[概要]

「公立病院に関する財政措置に関するあり方等検討会報告書」（平成20年11月）を踏まえ、公立病院における医師確保対策等の必要性を考慮し、公立病院に係る1病床当たり単価を増額する。（全国増加額：270億円程度）

<1病床当たり単価> H20：482千円→H21：594千円

【救急告示病院】

[概要]

平成20年度まで特別交付税により措置を講じてきたが、救急医療を行っている団体が多く（偏在が少なく）全国措置額も大きいことから、措置額を大幅に拡充し、普通交付税により措置を講じる。（全国措置額：380億円程度）

<算定方法> 1,697千円 × A + 32,900千円
(空床補償経費) (病床数) (医師の待機手当等)

(3) 基準財政収入額の算定方法の改正

自動車取得税交付金の減収の一部を補てんする減収補てん特例交付金について、その100分の75の額を基準財政収入額に算入する。（平成21年度から平成23年度まで。交付金総額：各年度500億円）

4. 本県への主な影響

(1) 地域雇用創出推進費による影響

本県における基準財政需要額への算定額は3,550百万円であり、総額に占める割合は1.8%である。

人口を測定単位として算定された基準財政需要額のうち、歳入合計に占める自主財源の割合及び納税者1人あたり課税対象所得は全団体が全国平均以下である。また、第一次産業就業者比率は全国平均以上の団体が高知市を除く33団体であり、全団体において割増算定をされる結果となった。

(2) 公立病院に対する交付税措置による影響

本県における公立病院病床数の措置に該当する団体は、高知市はじめ8団体、救急告示病院の措置に該当する団体は、高知市はじめ7団体となっており、単価の増額や措置額の拡充などにより、保健衛生費の算定額は、11,118百万円となった。

5. 交付税制度の今後について

◇骨太の方針2006

「5年間で大幅な人件費の削減」

「地方単独事業における今後5年間は現在の水準以下に抑制」

- ・地方交付税の現行法定率を堅持する。
- ・地方税、地方交付税（地方財政計画ベース）等の一般財源の総額を確保する。
- ・地方交付税の配分に当たり、行政改革に積極的に努力している団体や地方税収の伸びがあまり期待できない団体に特段の配慮を行う。
- ・地方団体の財政運営に支障が生じないよう必要な措置を講じつつ、算定の簡素化を図る。
- ・人口20万人以上の市の半分などの目標を定めて、交付税に依存しない不交付団体の増加を目指す。

◇骨太の方針2009

- ・経済危機的状况に照らし、果断な対応を適時適切に図る。
- ・「骨太の方針2006」等を踏まえ、無駄の排除など、歳出改革を継続しつつ、安心・安全を確保するために、社会保障の必要な修復をするなど安心と活力の両立を目指して現下の経済社会状況への必要な対応等を行う。

◇地方分権改革推進委員会「第一次勧告」（平成20年5月28日）

- ・税源移譲を含めた税源配分の見直しについて一体的に検討し、分権にかなった地方税財政制度の改革を進めていく必要あり。
- ・地方交付税の制度改革を含め財政調整のあり方についても検討する必要あり。
- ・地方交付税の算定を透明なものとし、地方自治体による予見可能性や国民への説明責任の向上をはかるための見直しを行うことが重要。
- ・税源配分の一体的な改革と税源の偏在是正とは一体不可分のものとして行う必要あり。
- ・地方税源の充実にあたっては、応益性を有し、薄く広く負担を分かち合うものであること。さらに、地域的な偏在性が少なく税収が安定したものであることが望ましく、国と地方の税体系の観点から見直しを行う必要あり。

◇地方分権改革推進委員会「第二次勧告」（平成20年12月8日）

- ・国と地方の財政状況や抜本的な税制改革の動向にも留意しつつ、国庫補助負担金、地方交付税、国税から地方税への税源移譲を含めた、税源配分の見直し、さらには地方債まで含め、一体的に検討する。
- ・地方自治体間の財政力格差を是正する方策について検討し、その格差の縮小を目指す。

◇今後の対応

自主財源の乏しい本県においては、歳入のうち地方交付税が占める割合が特に高く、交付税制度改革の影響を大きく受ける状況にある。

平成21年度地方財政計画においては、地方の厳しい状況等を踏まえた緊急対策として、既定の加算とは別枠で地方交付税を1兆円増額し、雇用創出等に対する支援措置を実施するなど、交付税の総額の確保が図られた。

しかしながら、三位一体改革や地方単独事業の抑制等を目標とする「骨太の方針2006」の流れから、県内市町村において、行財政改革や単独事業の抑制など、厳しい財政運営を強いられる状況となっている。

また、平成19年度から導入された人口と面積による簡素な方式による包括算定（新型交付税）は、今後その割合が拡大されることとなれば、地方交付税本来の財源保障機能を失うこととなり、団体間の格差が益々拡大することが懸念される。

都市部等では一部持ち直しの動きが見える経済状況であるが、本県では引き続き厳しい状況にあり、地方税収入など自主財源の増加は見込み難いことに加え、社会保障関係経費や地域経済の早期安定と雇用確保など、地方が地域のニーズに沿って取り組むための地方一般財源の必要性は、今後も増加することが予想される。

こうしたことから、地方分権の進捗や消費税を含む抜本的な税制改正等の動向を注視し、今後とも、条件不利地域の厳しい実情を踏まえ、地方交付税の総額確保はもとより、地方交付税本来の財源保障機能や財源調整機能の復元・充実を強く求めていく必要がある。

県内市町村分の動向

1 交付決定額

(1) 普通交付税

123,456百万円 (対前年度比 +3,175百万円、+2.6%)
全国市町村+5.1%に比べて増加率が低い。

(2) 臨時財政対策債(発行可能額)

13,615百万円 (対前年度比 +4,843百万円、+55.2%)
全国市町村+55.2%と同じ。

(3) 総額(普通交付税+臨時財政対策債)

137,071百万円 (対前年度比 +8,017百万円、+6.2%)
全国市町村+11.1%に比べて増加率が低い。

2 基準財政需要額の動向(錯誤額含む)

199,446百万円 (対前年度比+651百万円、+0.3%) [全国▲0.5%]

【県内市町村の需要額の主な増減要因】

①地域雇用創出推進費の創設

基準財政需要額への算定総額は3,550百万円で、基準財政需要額に占める割合は1.8%となっている。

県内市町村における人口一人当たりの算定額は4,458円(全国第2位)であり、全国に比べ約2.3倍となっている。(全国1,961円)

全国平均に比べ算定額が高い要因は、納税者1人あたり課税対象所得が全国平均より低く、第一次産業就業者の比率が全国平均を大幅に上回ることが挙げられる。

②その他の個別算定経費

○増加要因

- ・保健衛生費(人口) 11,118百万円
(対前年度比 +1,278百万円 +13.0%)
公立病院病床数の措置単価の増等。
主な増額団体 高知市 対前年度比 +499百万円 +13.1%
いの町 対前年度比 +89百万円 +23.8%
- ・生活保護費(市部人口) 8,639百万円
(対前年度比 +911百万円 +11.8%)
生活扶助単価の増等。
主な増額団体 高知市 対前年度比 +756百万円 +15.3%
須崎市 対前年度比 +62百万円 +19.0%

○減少要因

- ・地域振興費(人口) 11,201百万円
頑張る地方応援プログラムによる歳出削減率の低下による減等。
(対前年度比 ▲781百万円 ▲6.5%)
主な減額団体 高知市 対前年度比 ▲267百万円 ▲4.9%
南国市 対前年度比 ▲175百万円 ▲29.3%

③包括算定経費 29,383百万円(対前年度比 ▲786百万円 ▲2.6%)

平成19年度から、基準財政需要額の1割程度(国の基準付けがない、あるいは弱い行政分野)の算定について包括算定経費(新型)が導入されている。

3 基準財政収入額の動向（錯誤額含む）

75,811百万円 対前年度比 ▲2,616百万円 ▲3.3% [全国▲3.9%]

【県内市町村の収入額の主な増減要因】

①市町村民税法人税割の減少

2,343百万円（対前年比 ▲1,343百万円 ▲36.4%）

景気低迷による業績悪化が見込まれることによる減。

②固定資産税の減少（土地、家屋、償却資産）

29,987百万円（対前年比 ▲754百万円 ▲2.5%）

評価替えに伴う家屋評価額の減価などによる減。

③株式等所得割交付金額の減少

46百万円（対前年比 ▲94百万円 ▲70.8%）

景気低迷による特定株式等譲渡所得金額に係る交付金の減。

④自動車取得税交付金の減少

553百万円（対前年比 ▲180百万円 ▲32.9%）

平成21年度から時限的措置として環境適応車両に対する自動車取得税の減税措置による減。

⑤減収補てん特例交付金の増大

322百万円（対前年比 +94百万円 +41.2%）

自動車取得税の減税措置に伴う自動車取得税交付金の減収の一部を補てんする交付金の創設による増。

4 市町村別の動向

（1）普通交付税

- ・前年度より増加した団体32市町村、減少した団体2市町
- ・市部+2.9%、町村部+2.2%、市町村計+2.6%

【伸び率の大きい団体の主な要因】

○大月町（対前年度比 +161百万円 +7.5%）

【需要】包括算定経費（人口）の単位費用の減などの減額要素があるものの、地域雇用創出推進費や、公立病院の病床数についての単価の増額による保健衛生費の増加が、決定額に占める割合が高いため、昨年度に比べ増となる。

- ・地域雇用創出推進費の創設（対前年度比 +68百万円 皆増）
- ・保健衛生費（対前年度比 +62百万円 +45.6%）

○宿毛市（対前年度比 +231百万円 +6.6%）

【需要】包括算定経費（人口）における単位費用の減などの減額要素があるものの、地域雇用創出推進費や生活保護費の増加が決定額に占める割合が高いため、昨年度に比べ増となる。

- ・地域雇用創出推進費の創設（対前年度比 +79百万円 皆増）
- ・生活保護費（対前年度比 +30百万円 +25.7%）

○芸西村（対前年度比 +60百万円 +5.7%）

【需要】包括算定経費（人口）の単位費用の減などの減額要素があるものの、地域雇用創出推進費や、障害者施設への入所者数の増による社会福祉費の増加が、決定額に占める割合が高いため、昨年度に比べ増となる。

- ・地域雇用創出推進費の創設（対前年度比 +58百万円 皆増）
- ・社会福祉費の増（対前年度比 +18百万円 +14.9%）

【減少した団体の主な要因】

○越知町（対前年度比 ▲17百万円 ▲0.9%）

【需要】地域雇用創出推進費の創設などの増額要素があるものの、清掃費にかかる元利償還費の減や包括算定経費（人口）における単位費用の減等に伴い減額となる。

- ・清掃費（対前年度比 ▲34百万円 ▲31.9%）
 - 一般廃棄物処理事業債償還費の減（▲33百万円▲49.8%）
- ・包括算定経費（人口）（対前年度比 ▲12百万円 ▲3.4%）

○安芸市（対前年度比 ▲20百万円 ▲0.5%）

【需要】地域雇用創出推進費の創設などの増額要素があるものの、頑張る地方応援プログラムの歳出削減率の低下による減や、下水道費単価の減額等による減。

- ・地域振興費（人口）（対前年度比 ▲46百万円 ▲14.0%）
- ・下水道費（人口）（対前年度比 ▲27百万円 ▲14.3%）

（2）臨時財政対策債（発行可能額）

- ・全市町村が対前年比55.2%のプラスとなっている。

（3）総額（普通交付税＋臨時財政対策債）

- ・全団体が前年度より増加した。
- ・市部では+52百万円（+6.7%）の増、町村部では+28百万円（+5.5%）の増となっている。